

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市有城荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤徳久
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none">・令和6年2月2日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。・令和6年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。・今年度重視して評価を行った「安全管理（危険箇所の把握と対策）」については、施設の日常点検や消防設備点検、建築物定期点検等による危険箇所の把握と修繕等による早期改善に努めており評価できる。・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、様々な講座や事業を実施して、学ぶ意欲に応え創作を楽しむ場を提供しました。くらしきすこやかプラザで装いも新たに開館して1年が経過し、今年度も多くの方々に足を運んでいただきました。</p> <p>3密の回避や定期的な換気、手指消毒薬の設置など、感染症等への警戒は継続しつつ、高齢者が気軽に集い、趣味や軽スポーツなどを通して仲間と交流できる場を提供して、社会参加の促進や生きがいの向上を支援しました。</p>	

	<p>「さわやか講座」では、好評のグラウンドゴルフ講座を今年度も開講したほか、やさしい音色のトーンチャイムを使った「トーンチャイム体験講座」を開講し、初めてふれる楽器を仲間と息を合わせて演奏して、音楽と交流を楽しむ場を提供しました。また、高齢者にも深刻な被害が見られる特殊詐欺等について、スマホ講座や市出前講座の中で実例をあげて強く注意喚起を行いました。</p> <p>レクリエーション事業では、勝敗よりもからだを動かすことそのものを楽しむニュースポーツ「ボッチャ」「囲碁ボール」「スマイルボウリング」等を実施しました。クラフトバンド手芸や編み物も安定した人気があり、多くの方に趣味の広がり場を提供しました。</p> <p>今後も健康相談等を通じて地域の高齢者の気持ちに寄り添い、安全・快適な交流の場を提供することで、心豊かな充実した毎日を過ごしていただけるよう努めます。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体及び職員対応は99.7%、施設の衛生管理及び安全対策は99.7%となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数		特記事項
	今年度	前年度	
	23,459人	19,816人	
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>		

3 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	47,893千円	
	市からの指定管理料	47,622千円	
	その他の収入	271千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	58,572千円	
	主な支出	人件費	31,620千円
		光熱水費	3,649千円
		修繕料	5,208千円
		業務委託費	3,464千円
		その他	14,631千円